

周南地域の野犬問題に関する連絡協議会（第7回会議）の開催について

周南地域の野犬問題解決に向け、関係者間の円滑な連携を通じて、実効性のある取組を推進するため設置した、周南地域の野犬問題に関する連絡協議会の第7回会議を次のとおり開催しました。

1 日 時

令和3年3月16日（火曜日） 午前10時から午前11時まで

2 場 所

山口県周南総合庁舎4階401会議室

3 出席者

委 員	備 考
山口県環境生活部審議監	会長
周南市環境生活部長	副会長
周南市環境生活部環境政策課長	
周南市都市整備部公園花とみどり課長	
周南市教育委員会学校教育課長	代理
山口県周南警察署生活安全課長	
山口県周南環境保健所副部長	代理
山口県周南環境保健所生活環境課長	
山口県環境生活部生活衛生課長	事務局

4 概 要

会議では、各機関が取組状況を報告し、課題を整理した上で、今後の対応について協議しました。

(1) 取組状況と成果

ア 野犬の捕獲強化 [県]

○巡回調査・捕獲（2人/班/日）

・野犬通報アプリ等の情報を活用した巡回調査、囲い檻等による捕獲を実施

○より広域的な捕獲対応

・大型囲い檻7基（県4基、市3基）を周南緑地付近に設置（R1.8～）

・周南緑地周辺の対応を継続しつつ、市内の苦情多発地域に大型囲い檻を設置（R2.1月～現在）

【R2.8月～R3.2月における捕獲実績】

□周南市内

・取組強化直後の昨年同期に比べ、捕獲頭数は減少（507頭 → 437頭）

・一昨年同期から、子犬の捕獲頭数は漸減傾向（400頭 → 392頭 → 375頭）

□周南緑地（大迫田墓地を含む）

- ・ 昨年同期に比べ、成犬の捕獲頭数が減少したが、取組強化前の約 2.6 倍（ 54 頭 → 18 頭 ）
- ・ 昨年同期に比べ、子犬の捕獲頭数はほぼ横ばい（ 172 頭 → 174 頭 ）
- ・ 昨年同期に比べ、捕獲頭数は減少したが、対策強化以降は高い水準を維持

《R 2. 8 月～R 3. 2 月の捕獲実績》

区 分	R 2. 8 月～R 3. 2 月	R 1. 8 月～R 2. 2 月
周南市内	4 3 8 （ 6 3 ）	5 0 7 （ 1 1 5 ）
周南緑地	1 9 2 （ 1 8 ）	2 2 6 （ 5 4 ）

（ ）内は成犬で内数

イ 野犬への餌やり行為等への対策 [市]

① 餌やり禁止パトロール

むやみな餌やり禁止や飼犬の遺棄防止等のため、大迫田墓地や周南緑地を中心に、巡回・指導を実施し、むやみな餌やり行為を抑止

○日中パトロール

- ・ 体 制 市職員 2 名
- ・ 回数等 170 回（R 2. 4. 1～R 3. 2. 28）
- ・ 実 績 餌やり注意 5 回、餌回収 6 回

○夜間パトロール

- ・ 体 制 県及び市職員
- ・ 回数等 41 回（R 2. 4. 1～R 3. 2. 28）
- ・ 実 績 餌やり注意 6 回（うち指導指示書手交 1 回）

○餌やり者への個別（訪問）注意

しゅうなん通報アプリ等の情報に基づき、特に悪質な行為者について、個別訪問や現場での接触を試み、厳重注意や指導指示書の交付を実施

- ・ 実 績 厳重注意 5 回（うち指導指示書手交 3 回）

② 公園・墓地内の管理強化

○車止めの設置等

- ・ 大迫田共同墓地内への夜間の進入を禁止するため、車止めを 2 箇所設置（R 2 年 6 月～）
- ・ 園路に車止めを設置、補修（R 1 年度実施、2 か所 4 本）し、継続して餌やり行為を抑制

○野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り（4,900 m²）

ウ しゅうなん通報アプリ（野犬情報通報機能）の配信開始 [市]

○R 2 年 9 月から、同アプリに野犬情報通報機能を追加

- ・ ダウンロード数：4,064（配信開始後：1,349） 通報件数：837
- ・ 情報は、周南環境保健所共有

エ 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組 [県・市]

○啓発活動の実施

- ・ R 2. 10. 17 イオンタウン周南

- 周南地域の野犬の現状に関するマスコミ取材に協力
- ホームページ（HP）等による野犬対策や捕獲犬の譲渡の取組を積極的にPR
 - ・県HPに周南地域の野犬対策のサイトを設置
 - ・市HPによる周南市の野犬情報の発信
 - ・周南環境保健所での犬猫の譲渡について市広報誌への情報掲載

(2) 課題と今後の対応

ア 野犬の捕獲継続 [県]

- ・周南緑地における野犬出没は減少したが、対策の継続が必要
 - ⇒ 周南緑地での捕獲を継続
- ・周南緑地以外でも継続的に野犬苦情発生
 - ⇒ 野犬出没地域において、大型檻の活用等により捕獲を強化

イ 野犬が棲みにくい環境づくり [市]

- ・草刈りにより、野犬が棲みにくい環境づくりの効果が出ている。
 - ⇒ 周南緑地・大迫田墓地周辺を中心に、効果的な箇所での実施
- 公園管理区域においては、R3年度から拡充予定

ウ 野犬情報の収集と発信 [市]

- ・「しゅうなん通報アプリ」の活用により、野犬情報の把握や餌やり者への指導等に効果が出ている。
 - ⇒ 「しゅうなん通報アプリ」を活用し、野犬情報を収集・発信を継続

エ 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組

- ・野犬対策キャンペーンにより、むやみな餌やりは「良くないこと」であるとの認識が市民に広がってきている。
 - ⇒ R3年度においても野犬対策キャンペーンを実施予定（時期等未定）

オ 野犬へのむやみな餌やり行為への対策 [市・県]

- ・引き続き、むやみな餌やり行為への対策が必要
 - ⇒ 関係機関が連携し、効果的なパトロールを実施
 - エにより意識醸成を進め、地域と行政が一体となった取組を推進

(3) その他

次回会議の開催時期は、今後の取組状況等を踏まえ、関係機関で協議